



平成 28 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社秀英予備校
 代表者名 代表取締役社長 渡辺 武
 (コード：4678、東証第 1 部)
 問合せ先 取締役経理部長 田中 耕治
 (TEL. 054-252-1792)

特別損失の計上及び平成 28 年 3 月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

特別損失の計上及び平成 28 年 2 月 5 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想値と本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

個人消費の落ち込みにより売上高・収益が計画を下回っており、十分な生徒数確保が難しくなった校舎（北海道 3 校舎、福島県 3 校舎、山梨県 1 校舎、神奈川県 3 校舎、静岡県 4 校舎、愛知県 4 校舎、三重県 2 校舎、計 20 校舎）については、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、特別損失 821 百万円を計上することといたしました。

2. 平成 28 年 3 月期連結業績予想値と実績値との差異（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,500	534	473	110	16.40
実 績 値 (B)	11,149	267	232	△970	△144.62
増 減 額 (B - A)	△350	△266	△240	△1,080	
増 減 率 (%)	△3.1	△49.9	△50.8	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	11,259	78	27	△3,257	△485.47

3. 差異の理由

わが国経済は、円安を背景に自動車や電機産業などの製造業、輸出企業を中心に業績を大きく伸ばしておりますが、一方、中国経済の減速や原油安により世界経済は先行不透明な状況となっております。また、節約志向が高まり、百貨店・旅行・外食などの個人消費は依然として停滞・悪化するところとなっております。当業界におきましては市場規模は横ばい状態で推移しておりますが、個別型、集団型を問わず、教場新設が一層活発化し、かつてない過当競争の様相を呈しています。

このような情勢の下、生徒数が著しく減少している校舎を閉鎖し、成長が期待できる部門に経営資源を集中することと致しましたが、生徒数の減少により回復に至っておりません。

この結果、売上高におきましては前回（平成 28 年 2 月 5 日）公表を下回ることとなりました。また、売上高の減少に伴い営業利益及び経常利益も減少し、前述の特別損失の計上により親会社株主に帰属する当期純利益においても前回公表を下回ることとなりました。

以 上